

# 金融論B／Ⅱ

## 第8回講義

### 金融システムと中央銀行

担当教員：武田浩一

# 今回のテーマ



## ◆ 金融システムと中央銀行 (テキスト 第8章 p.209-238)

- 中央銀行とは
- 日本と各国の中央銀行
- 中央銀行の主な役割



# 中央銀行とは

- **中央銀行**はほとんどの国で設置されている一国の金融の中央機関である。
- 中央銀行の主な業務は、**発券銀行、政府の銀行、銀行の銀行**という三つの役割を果たすことである。
- 国によっては、金融機関の検査監督権限のような付加的な業務権限が与えられている。

日米欧の中央銀行首脳  
(2020年2月末時点)

# 代表的な中央銀行

- 日本  
日本銀行

- 米国

連邦準備制度 FRS

(FRSを統括するのが連邦  
準備制度理事会 FRB)

- 欧州(ユーロ圏17カ国)

欧州中央銀行

- 英国

イングランド銀行(1694年設立、中央銀行の一つの原型)



Photo by  
Ariel Javellana

黒田東彦  
日銀総裁



クリスティーヌ・ラガルド  
欧州中銀総裁



ジェローム・パウエル  
FRB議長

# 日本銀行



日本銀行本店（東京都中央区）

- 日本銀行は1882年に設立され、日本銀行法に基づき日本の中央銀行として活動している。
- **日本銀行の目標**は、1998年に施行された改正日本銀行法で次のように定められている。
  - ① **物価の安定**・・・物価の安定を通じて国民経済の健全な発展に資すること。
  - ② **金融システムの安定性確保**・・・決済システムの円滑な運行を確保し、金融システムの安定に資すること。

# 日本銀行 政策委員会



(日本銀行ホームページより)

- 日本銀行の最高意思決定機関は、**政策委員会**である。
- 政策委員会は、総裁、2人の副総裁、および6人の審議委員から成り立つ合議制の機関である。この9人は国会の同意を得て内閣によって任命される。
- 政策委員会の会合のうち、金融政策の運営に関する事柄を決定する会合は、**金融政策決定会合**と呼ばれ、原則として年8回で各2日間開催されている。

# 日本銀行政策委員会メンバー

役職	氏名	就任前キャリア
総裁	黒田 東彦 	財務省官僚
副総裁	雨宮 正佳 	日本銀行職員
副総裁	若田部 昌澄 	大学教授
審議委員	櫻井 眞 	シンクタンク職員
審議委員	原田 泰 	経済企画庁官僚
審議委員	政井 貴子 	銀行員
審議委員	鈴木 人司 	銀行員
審議委員	片岡 剛士 	シンクタンク職員
審議委員	布野 幸利 	自動車会社社員







# 中央銀行の主な役割

## ① 発券銀行

- 中央銀行は、発券銀行として現金通貨である**銀行券**（紙幣）を独占的に発行する。
- 中央銀行が発行する銀行券は、公私一切の取引に無制限に通用する**強制通用力**が与えられる。
- 日本を含む主要国の発券制度は、銀行券の裏付けとして金、銀などの保有が義務付けられず、中央銀行の信用だけで発行される**管理通貨制度**である。

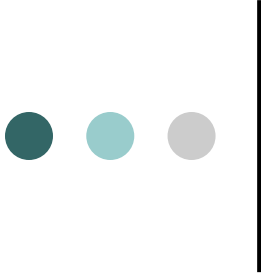
# 日本銀行券

日本銀行券の発行残高は、約173.1億枚、約112.7兆円(2019年末)。

名称	券面 (表)	枚数 (兆円)
一万円券		104.3
五千円券		3.5
二千円券		0.1
千円券		4.4
合計		112.7

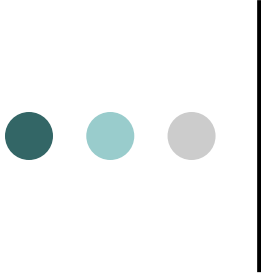
(日本銀行ホームページより作成)

現金は小口取引に便利で取引のプライバシーが守りやすいなどの利点がある反面、大規模な犯罪や脱税などに利用されやすいという負の側面もあり、EUやインドなどでは高額紙幣を廃止する動きが出ている。



# 内部貨幣と外部貨幣

- 企業が発行する手形や中央銀行が発券を独占する以前にかつて民間銀行がそれぞれ発行していた銀行券は、市場で内生的に発生した貨幣という意味で**内部貨幣**(inside money)と呼ばれる。
- 保有者にとって内部貨幣は資産だが、発行者にとっては負債である。つまり、民間部門全体にとって内部貨幣はネットで見れば資産でもなく負債でもない。



# 内部貨幣と外部貨幣

- 中央銀行が発行する銀行券は、中央銀行によって外部から市場へ注入された貨幣という意味で**外部貨幣**(outside money)と呼ばれる。
- 外部貨幣は中央銀行という国家機関が発行する負債であるため、民間部門全体にとって資産になる。



# 支払完了性

- 取引の決済を最終的に完了させることができる性質を**支払完了性**（または**ファイナリティ**）という。
- 支払完了性を持つ通貨には、日本銀行が発行する現金通貨と、金融機関が日本銀行に保有する当座預金（**日本銀行当座預金**、日銀当預）がある。



# 中央銀行の主な役割

## ②銀行の銀行

- 中央銀行は、当座預金を受け入れ貸出を行うが、一般企業とは取引せず、もっぱら銀行や証券会社などの**金融機関のみと取引する**。
- 中央銀行は金融市場において債券や手形の取引を行い、金融市場に出回る資金の過不足を調整する**金融調節**を行う。



# 最後の貸し手

- 中央銀行は流動性が一時的に不足した銀行に**最後の貸し手**(LLR, Lender of Last Resort)として資金を供給し、銀行取り付けなどの不測の事態による特定の金融取引の問題が他の金融取引に連鎖的に波及して金融システム全体の機能が崩壊するのを未然に防ぐ機能を持つ。

# 銀行取り付け

- 小口・短期の預金を受け入れ、大口・長期の貸出を行う銀行は、たとえ経営内容が悪くない優良な銀行であっても、多くの預金者が預金の払い戻しを求めて一時に殺到すると、即座に応じきれなくなって破綻する**銀行取り付け**が起きるリスクに直面している。



(Photo by Lee Jordan)

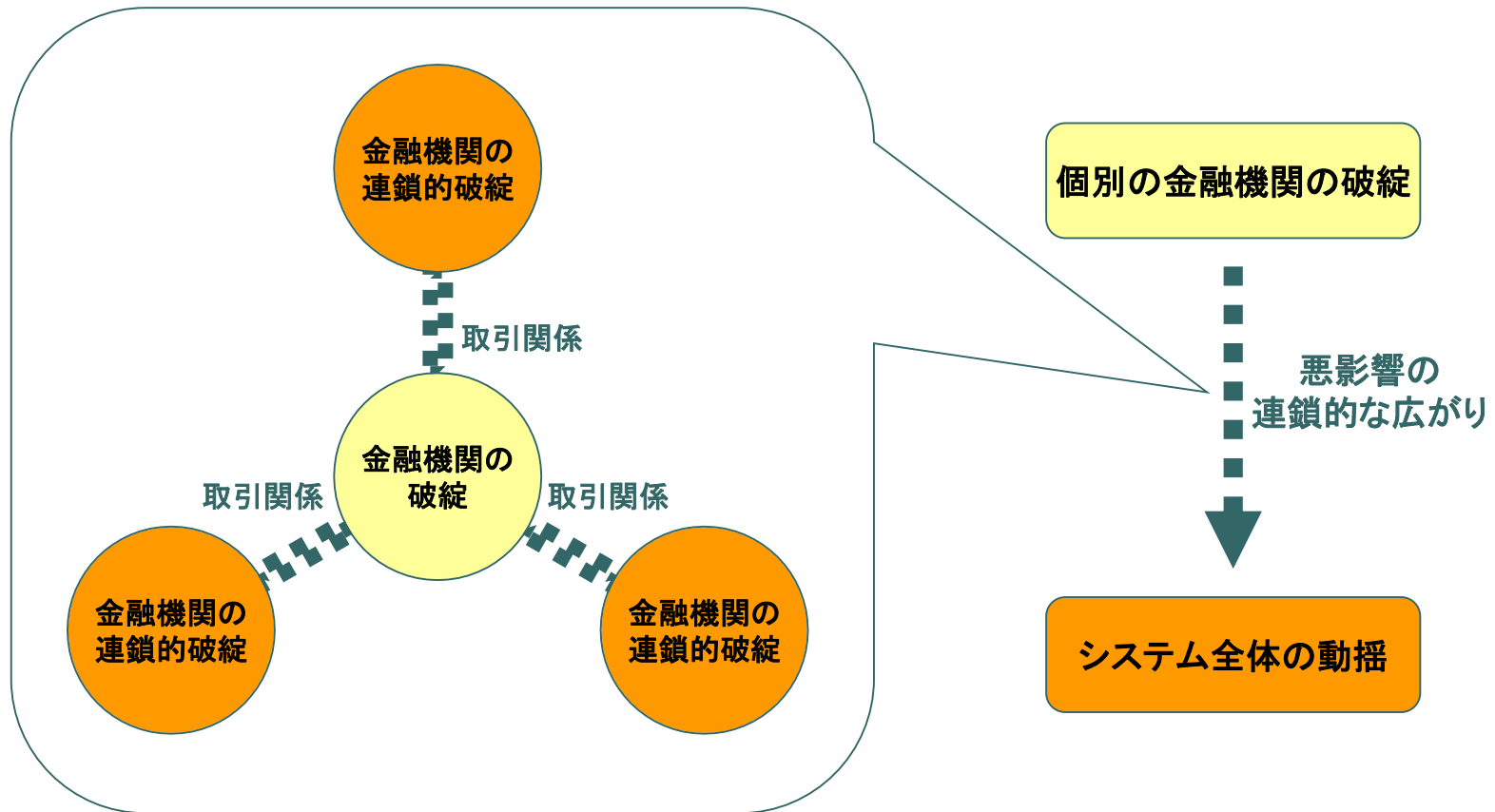
2007年に英国で約100年ぶりの銀行取り付け騒ぎに見舞われ、預金の払い戻しを求めて預金者が殺到した英国の銀行のノーザン・ロックの店頭。この後、数日間に数千億円相当の資金流出に見舞われた。その後、早期に事態を収拾するため、2008年に英国政府が同銀行を一時国有化した。



# システミック・リスク

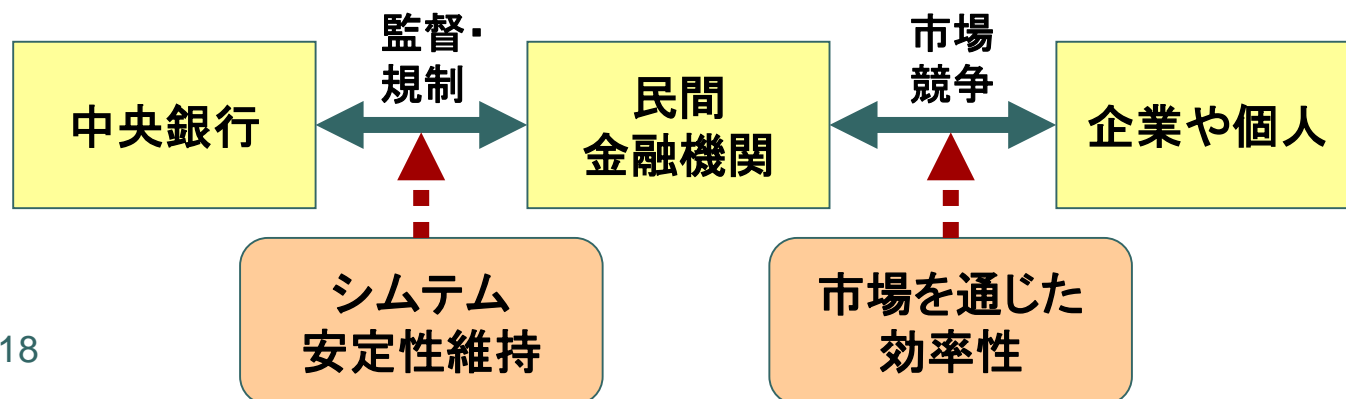
- 金融システムには、個別の金融機関の破綻のように発生当初はシステムの一部の綻びであった問題が、取引関係などのネットワークを通じてその悪影響が連鎖的に広がることによって、短期間に金融システム全体に動揺を与える**システミック・リスク**に発展する可能性が常に存在する。

# システミック・リスク



# 金融市場の安全性と効率性の両立

- 金融市場の**効率性**は、民間金融機関の活動が自主性に委ねられていることで、競争的な**市場メカニズム**によって達成される。
- 金融システムの**安定性**の維持は、**中央銀行の役割**であり、この意味で中央銀行は経済を支えるインフラストラクチャーの一部である。





# 中央銀行の主な役割

## ③政府の銀行

- 政府は保有する資金の預金勘定を唯一中央銀行に開設し、政府の経済活動によって生じる他の経済主体との資金決済は、中央銀行に開設された**政府預金**を通じて行われる。
- 中央銀行は、国庫や国債、外国為替関連の国の事務を行う。

# 貨幣鑄造益



- 中央銀行の財政当局からの独立性が低いと、政府の歳入を賄うために、中央銀行に銀行券を発行させることがある。このような貨幣発行による政府の収入を**貨幣鑄造益**（**シニョレッジ**, seigniorage）と呼ぶ。
- 増発された貨幣が政府の支出に使われると、通貨価値が損なわれてインフレが引き起こされ、民間の購買力を目減りさせる。このため、貨幣鑄造益は**インフレーション税**（**インフレ税**）とも呼ばれる。

# 通貨価値の安定

- かつて、通貨と金の兌換が保証されていた**金本位制**の時代には、中央銀行が発行できる銀行券は保有する金の量に制約されていた。
- しかし、現代の**管理通貨制度**の下では、政府が裁量で中央銀行に通貨の増発を強制するおそれがあるため、中央銀行の重要な目標の一つは**通貨価値の安定**となっている。
- 政府の圧力に屈してインフレに歯止めがかからなくなるのを防ぐため、政府からの**中央銀行の独立性**が確保されている（日銀法第3条の1項）。

# 独立性と アカウンタビリティ



- 通貨価値の安定性を維持するという使命を達成するために与えられる独立性の対価として、中央銀行は自らの政策の意義やその理由を国民や政府・議会に説明する責任（**アカウンタビリティ**, accountability、説明責任）を負っている（日銀法第3条の2項）。
- また、日本銀行は金融調節事項を議事とする会議の**議事録概要の公表**を義務付けられている（日銀法第20条）。